S.P.Vつうしん

発行　スペースパークボランティアの会　広報部会

〒963-8002　郡山市駅前２－11－１郡山市ふれあい科学館内　TEL 024(936)0201

No.2号

平成16年10月

暑～い夏にボランティアも熱～く活動！

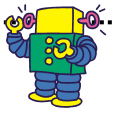
－夏休み活動特集－

モーレツに暑かった今年の夏。しか～し、あつかったのは夏ばかりではありません！、私たちＳ．Ｐ．Ｖのボランティア活動も熱くハッスルしました！

“サイエンスフェスティバル”は 毎年夏休みに行なわれるイベント。これに向けて休み前から科学ボランティアは下準備に何度も集い、休み中は毎週土・日・祝日に、多くのお客様に大感激・大活躍の夏でした。

もちろん、案内サービスボランティアや、鉄道ジオラマボランティアも、このイベントを一緒に盛り上げ、天文ボランティアはおなじみの“観望会”で活動しました。では、そのアツイ思いをお伝えいたしましょう！

私たちの初企画～～大成功！



科学ボランティア

初めての自主企画 !!

７／17から８／22までの土・日・祝日、のべ13日間、サイエンスフェスティバルで、科学ボランティアコーナーを出展しました。

工作メニューは事前の全体会議で討議し、「八重風車」と「スペースシャトルのペーパークラフト」の２つに決定、これを１週間おきに交互に実施することにしました。また、これとは別に会員からの提案で、針金細工で枠を作り、何面もの「おもしろシャボン膜」を作る体験コーナーも設置しました。

八重風車とスペースシャトルの工作ともに、新しいメニューでの事前準備が必要でした。風車は２枚の色紙に切り目を入れたり、穴あけ作業等に２日間を費やし、またスペースシャトルは著作権問題で、作者の事前了解を取り付ける必要がありました。そこで作者と連絡文書を交わしたりもしました。

期間中、会場は親子連れでたいへん賑わいました。スペースシャトルは男の子に人気があり、八重風車はその珍しさから、お母さん方にも好評で“色紙の切り方から詳しく教えてほしい”と要望される場面もありました。こうして、科学ボランティアとしては初めての独自企画でお客様と楽しむことができ、大成功に終わりました！

親子で楽しい風車づくり

サイエンスフェスティバルで、科学 新会員が大活躍！

Ｓ．Ｐ．Ｖは今年２度目のボランティア募集をしましたが、新会員も積極的に参加し、多大な貢献をしてくれました。以下に新会員の一人、伊藤さんの感想を紹介します。私たちがボランティアを初めたころの新鮮な気持ちを思い出させてくれます。

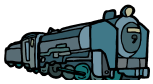
100mの“ほんとの空”体験　伊藤さん

ビッグ・アイ 20 階からの眺めはすばらしい。そこには“～智恵子のほんとの空だといふ”青い空がある。ボランティアのきっかけは、ふれあい科学館ＨＰへのアクセスでした。当初は科学工作の手伝いということで、かなり高級なイメージでしたが、最初がなんと「ペーパークラフト！」もう少しレベルを上げては･･･と思いつつ、スペースシャトルと八重風車の工作に挑戦しました。学校が夏休みということもあって予想以上に来館者が多く説明にてこずるほどでした。幼稚園児から大人まで懸命に取り組む姿、完成を喜ぶ子供たち、ありがとうと帰る子供たちに感動し、その好奇心に圧倒されました。また改善点としては、工作が分かり易い説明パネルが必要であると思いますが、今後の検討課題のひとつです。科学館などでは、「ショー的」な内容がうけていますが、私たちは「ものづくり」などを通して、「地道に科学する」ことをモットーに活動したいと思います。この体験は、はじめに行動在りきで“ほんとの空”に触れた思いでした。

地道に科学！伊藤さん

“風車星”に向かうシャトル

Ｎゲージに大満足 !!



鉄道ジオラマボランティア

７／31・８／１の両日、サイエンスフェスティバルにて特設コーナー「鉄道模型操作体験」を開催しました。このコーナーで使用したＮゲージの模型は、鉄道ジオラマボランティア・渡辺さんの所有物であり、渡辺さん自身で約 26 ㎡の鉄道ジオラマ、４系統路線を制作しました。現在、ＪＲでも使用されている車両から懐かしいＳＬ車両までの模型 20 編成が、顔を揃えて並ぶ姿は壮観でした。この巨大な鉄道ジオラマでは、お客様自身が実際にＮゲージの操作を体験することができ、またお客様の模型車両を持ち込んで走らせることもできました。車両を持ち込まれたお客様は、ご自慢の車両がジオラマ内を走破していく姿にご満悦の様子でした。操作体験者は２日間で 100 名を超え、お客様は様々なＮゲージの鉄道模型を満喫しておりました。

ずらっと並んだ、渡辺さん所有のＮゲージ

操作体験を楽しむ未来の運転手！

“渡辺鉄道”の渡辺さん

紳士の国イギリスでは、鉄道模型は王様の趣味といわれております。
が!? 日本ではまだまだ･･･。“大人がおもちゃで遊んで”と白いまなざしを受け、オタクでネクラな趣味と思われているのが実態です。これらの蔑称を解消するためにも、今後も機会があれば鉄道模型の運転操作体験を実施していきたいと考えております。

ゆっくリズムに感動 !!

案内サービスボランティア

紙芝居のはじまり、はじまり～！

８／７・８の両日、サイエンスフェスティバルで、のべ８名が“昔懐かし”紙芝居コーナーを出展しました。私たちは、紙芝居を始めて日も浅く、「どのように演じれば観客に喜んでもらえるか？テンポの早い動画やアニメに馴れた子供たちに受け入れてもらえるか？」各自が暗中模索のなか、場数をこなし努力を続けていけば、道が開けてくるだろうと一生懸命でした。私たちの一員でもあり、すでに未来博などで活動されている佐藤さんを講師として、“紙芝居を演じる”ということを中心に練習しました。

紙芝居を見ている子供たちを観察して、一つの大発見をしました。それは、紙芝居がもつ“ゆっくリズム”（新語？）が感動を与えるという現象をおこすことです。ＴＶにはない演じ手と見る人との一体感のなせる技にあるようです。これからも「ふれあい」の精神を大切に、紙芝居を科学館の名物に育成させることを目標にしていければと思っています。《添田》

紙芝居の師匠　佐藤さん

紙芝居を初めてもう四ヶ月、今回の紙芝居コーナーの本格的な舞台には、びっくりするやら、嬉しいやら。子供さんの楽しそうな顔、ご年配の方々の懐かしそうな笑顔、演じていてとても楽しいひとときでした。それと紙芝居の難しさ、奥深さを感じ、かえってやりがいを感じました。これからも試行錯誤しつつ、楽しみつつ、長～～く続けられる様にと存じます。

初の大ステージ　シビれるぅ～！

悪天候に四苦八苦 !!

天文ボランティア

お月様にうさぎは見える？

気力、体力、知力？はあるけど時間がなく、休日や仕事終了後の夜間を中心にボランティア活動展開中！　７／28 は、郡山駅西口の駅前広場で駅前観望会に参加しました。この日は雲がほとんどない綺麗な夜空が広がり、約 200 名のお客様が月をメインに観望しました。

しか～し雨男（女？）がいるのかいないのか、８／28 には天文ボランティアの初主催事業としての駅前観望会、自主研修会を計画しましたが、台風の影響もあり雨雲に阻まれて中止とあいなりました。実はその 10 日前の駅前観望会も中止となり、“手長足長”（注・案内サービスボランティアの紙芝居）のたたりではないかと噂されています。

ここのところ、週末に悪天候が続き、観望会の勝率も下がり気味ですが、これからの秋晴れに期待しつつ、反省会？と称す繁華街観望会をこまめに実施しています。　10／14 には太陽の一部が月にかくれる部分日食があり、観望会も予定されております。私たちも参加し、独自の企画（お楽しみに！）も考えております。太陽はとても明るく、肉眼で直接見るのは危険です。興味がある方は科学館まで。《斎藤》

天ボラの知識の泉①　～ブルー・ムーン　～BLUE MOON～

８月は満月が月に２回ある「ブルームーン」と呼ばれるめずらしい月でした。
（平均２年に１度の頻度で起きます。）

写真はきれい！でも白黒印刷･･･。

Ｓ.Ｐ.Ｖ 活動情報（～12 月）

案内ｻｰﾋﾞｽ ★“昔懐かし”紙芝居　◇平日 11：30～、土日祝 11：30～、14：30～（約 10 分）
鉄道ｼﾞｵﾗﾏ ★ジオラマショー案内　◇平日 11：00～のみ、土日祝 11：00～、15：00～（約 20 分）
科　　学 ★かんたん実験工作ほか：展示ゾーン入館者　◇土日祝 10：00～16：00
天　　文 ★駅前観望会　◇9/23 18:30～19:30、10/14 10:30～12:30、11/20 18:00～19:00
※ふれあい科学館の休館日を除きます。なお、都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

イベント情報 ～鉄道フェスティバル～

◇10／9（土）～11（月・祝）10：00～17：00　※11 日～16：00 まで

毎年、大好評の鉄道フェスティバルが開催されます。今年はなんと３日間開催！私たちも参加してイベントを盛り上げます。特に、鉄道ジオラマ会員所有、貴重な鉄道コレクションの展示は必見 !!

○Ｎゲージ操作体験コーナー
○旧国鉄・ＪＲ関連の鉄道コレクションの展示
○鉄道の紙工作コーナーほか

昨年の鉄道フェスティバルの様子

★『Ｓ.Ｐ.Ｖつうしん』発行予定　No.3 号 12 月下旬　No.4 号 17 年 3 月下旬　No.5 号 6 月下旬
★Ｓ.Ｐ.Ｖでは、年１回会員募集を行っています。なお、募集についての詳細は館内掲示物やＨＰ等でお知らせします。　→ＨＰ　http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp
★募集や活動等についてのお問合せはふれあい科学館　TEL 024(936)0201 まで

今号のキラ星☆さん 科学ボランティア 遠藤さん　大学生

科学ボランティアを始めて、今年で 2 年目になります。「スペースパークボランティア大募集!!」というポスターを見たのがきっかけでした。最初は「自分にできるの？」と不安になることも多かったですが、今では楽しく続けております。活動の中心は、展示物の簡単な説明や工作づくりです。“科学”と聞くと難しくとらえがちですが、扱うのは私たちのごく身近なものです。「そんなものは当たり前でしょ？」と言ってしまえばそれまでですが、好奇心を持って取り組んでみると、意外と面白いものです。まだまだ半人前で簡単な工作しかできませんが、お客様が喜んでくれる顔を見ると、こちらも嬉しくなります。参加者の年齢層は幅広く、様々な価値観に触れることができるのも魅力の一つです。今後の課題も多いですが、活動を楽しみながら一つずつ乗り越えていきたいです。

編集あとがき

長～く暑い夏！そして熱いボランティア活動！

今年の夏は長く暑い夏でしたね。サイエンスフェスティバルに来られたお客様の中にも“子どもと一緒に暑さをしのぐにはココがいいんですよ！”と言われる方がいた。そういえば、図書館も暑い日には混雑するようだ。しかし図書館は無料だが、科学館の展示ゾーン・宇宙劇場は有料である。来ていただいたお客様には、めいっぱい楽しんでもらわなきゃ！

お客様に喜んでいただけるとボランティア活動も楽しくなる。その楽しいボランティア活動を市民の皆さんに広く知っていただき、より強固な活動にするため、「Ｓ.Ｐ.Ｖ つうしん」がその一翼を担っている。今回はその第 2 号。いよいよ離陸を終え大空に飛び立った。

次の千円札を狙うぞ！

◇科学 広報部　川中　誠